

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人吉岡秀四郎の上告趣意は、結局単なる訴訟法違反、事実誤認、量刑不当の主張に帰し、刑訴四〇五条に定める事由に該当しない。また記録を調べても同四一条を適用すべきものとは認められない。

よつて刑訴施行法三条の二、刑訴四〇八条により全裁判官の一致で主文のとおり判決する。

昭和二六年一〇月一八日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	真	野	毅
裁判官	沢	田	竹 治 郎
裁判官	斎	藤	悠 輔
裁判官	岩	松	三 郎